

ふるさと教育 取組事例

学校名	出雲市立荒木小学校		
学年	主な教科等	主に関わる単元名	活用した教育資源 (ひと・もの・こと)
4	総合的な学習	大楯七兵衛から“ふるさと荒木”を見つめよう	郷土史家～大楯七兵衛研究者～ 大楯踊りをおぼえる講座の方々 いずも民話の会の方々 来原岩樋、高瀬川、川尻、八通山 大楯踊り、大型紙芝居
ねらい	荒木の偉人、大楯七兵衛やその偉業に関心をもち、地域のいろいろな人と進んで関わったり友達と協力したりしながら課題解決し、自分たちの郷土をよりよくするために自分たちにできることを考え、実践することができる。		
<p>1 取組の概要</p> <p>(1) 1学期 郷土史家の方々と一緒に、高瀬川を見学 ・来原岩樋から、立体交差やはねひを見学。川尻で昔のお役所等について説明を聞く。</p> <p>(2) 2学期 郷土史家の方々やいずも民話の会の方々から、大楯七兵衛の偉業を学ぶ ・荒れ地を耕作地に変えるために八通山を作ったこと。 ・米作りができるようにするために高瀬川を作ったこと。</p> <p>(3) 2学期 地域に伝わる大楯踊りを、「大楯踊りをおぼえる講座」の皆さんから教わる。</p> <p>(4) 2学期 学んだことを学習発表会で、劇や語り、踊りを披露して、地域の人に伝える。</p> <p>(5) 3学期 高瀬川掃除を行い、ポスターや新聞などを作り、校内で伝えて、まとめる。</p> <p>2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。</p> <p>(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <p>①大楯七兵衛という、郷土の偉人について学び、荒木の地を現在のような豊かな農地に変えた人の存在やその工夫や努力を知ること、ふるさとへの愛着や誇りをもつ。</p> <p>②大楯七兵衛が自身の財産を投げうってまで大きな偉業を成し遂げた姿について学ぶことで、自分たちも荒木のために何かしたいと思う心を育む。</p> <p>(学力育成の視点から)</p> <p>①大楯七兵衛について学んだことを劇や語りで、また大楯七兵衛の偉業をたたえるために踊り継がれている大楯踊りを踊り、地域の人に伝えることができる。</p> <p>3 児童・生徒に見られた変容(どのような力が身に付いたか等)</p> <p>(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <p>①実際の高瀬川の見学や大楯七兵衛について学んだことで、その偉業のすごさを実感し、ふるさと荒木を大切にしたいとの思いを強くした。</p> <p>(学力育成の視点から)</p> <p>①学んだことを、学習発表会で、劇や語り、大楯踊りで、地域の人にわかりやすく伝えた。</p> <p>4 課題や今後の展望</p> <p>今後も、4年生の総合的な学習の時間の単元として、ぜひ継続して取り組んでいきたい。その際、児童にとって、より主体的な学びとなるために、大楯七兵衛に関わる「ひと・もの・こと」との出会い方を工夫したい。</p>			



*取組の様子がわかるような写真を数枚貼り付けてください。
(このデータをHP等に掲載することがありますので、写真は必ず承諾を得たものを貼り付けてください。)